

●●●平成30年1月～3月期 栃木県中小企業景況調査(155回)●●●

【栃木県DI指数天気図】

**今期(県内全体)の業況**
































DI値  
**-12.7**  
※全国 -13.9

point!

県内全体の業況(DI値)は、前期比+7.1ポイントの「-12.7ポイント」と2期ぶりに改善となった。全国との差も+1.2ポイントとなり、多くの業種で改善の傾向が見られた。

～天気図の指標～

現状	良い	やや良い	やや悪い	悪い	とても悪い
天気図					
DI値	15.1～	15～0.1	0～-15	-15.1～-40	-40.1～

業種	項目	今期(全体)	売上額	仕入単価※	採算	資金繰り	来期予想(全体)
製造業							
	DI値	2.2	-20.7	44.4	-17.2	-17.2	7.1
業況：今期は大幅な改善、来期も改善が見込まれる (DI値 前期比+17.3ポイント)							
建設業							
	DI値	-16.4	10.0	45.0	0.0	-10.0	-14.4
業況：今期は小幅な悪化となったが、来期は改善の見通し (DI値 前期比-1.4ポイント)							
小売業							
	DI値	-19.1	-57.5	30.0	-57.5	-40.0	-21.9
業況：今期は改善するも、来期は小幅な悪化を予想 (DI値 前期比+6.2ポイント)							
サービス業							
	DI値	-18.1	-33.3	38.3	-43.3	-28.3	-14.1
業況：今期は改善、来期も改善が見込まれる (DI値 前期比+4.2ポイント)							

※仕入単価はプラスになるほど悪化となります

【経営上の問題点】

製造業

- 第1位： 需要の停滞 (17.6%)
- 第2位： 原材料価格の上昇 (14.9%)
- 第3位： 製品ニーズの変化への対応 (12.2%)

小売業

- 第1位： 大・中型店の進出による競争の激化 (25.5%)
- 第2位： 購買力の他地域への流出 (16.4%)
- 第3位： 需要の停滞 (14.5%)

建設業

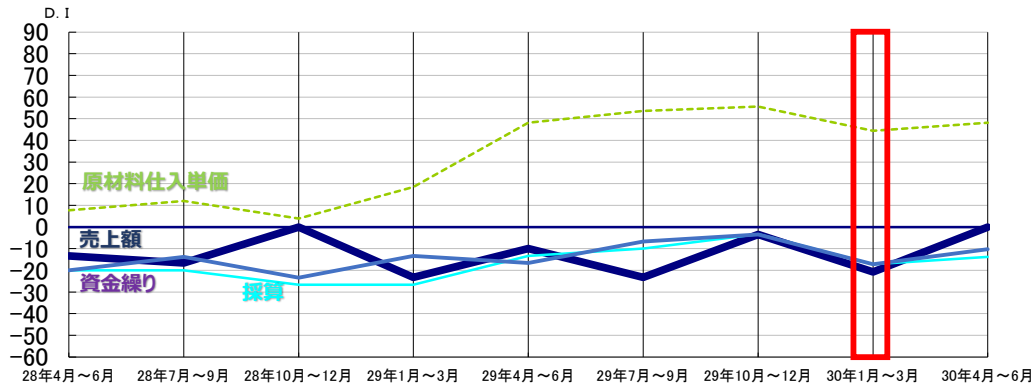
- 第1位： 従業員の確保難 (16.7%)
- 官公需要の停滞 (16.7%)
- 第3位： 大企業の進出による競争の激化 (13.3%)

サービス業

- 第1位： 利用者ニーズの変化への対応 (21.3%)
- 第2位： 需要の停滞 (13.5%)
- 第3位： 大企業の進出による競争の激化 (11.2%)

製造業

「売上額・採算・資金繰り悪化、来期は改善の見通し」

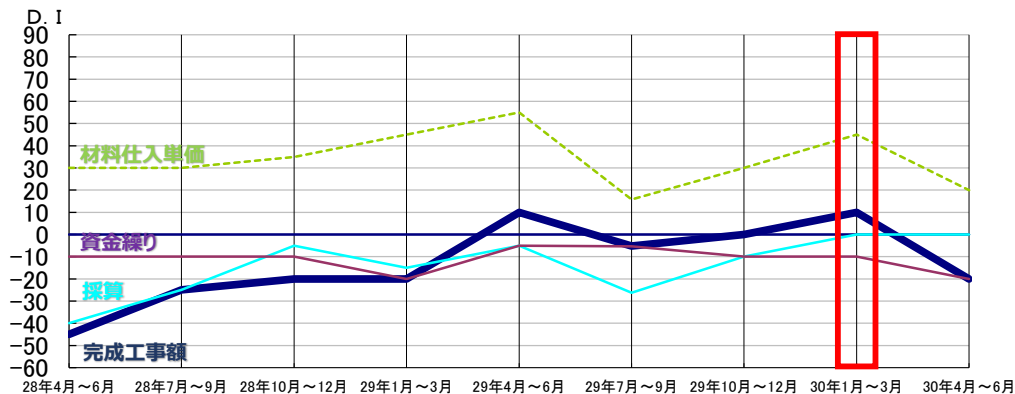


今期は、前期に比べて「売上額」が17.3ポイント(-3.4→-20.7)、「採算」が13.9ポイント(-3.3→-17.2)、「資金繰り」が13.8ポイント(-3.4→-17.2)の悪化となった。来期において、「売上額」は大幅に、「採算」「資金繰り」においても小幅な改善が見込まれる。

「原材料仕入単価」は11.2ポイント(55.6→44.4)減少したが、来期は3.7ポイント(44.4→48.1)の小幅な増加が見込まれる。

建設業

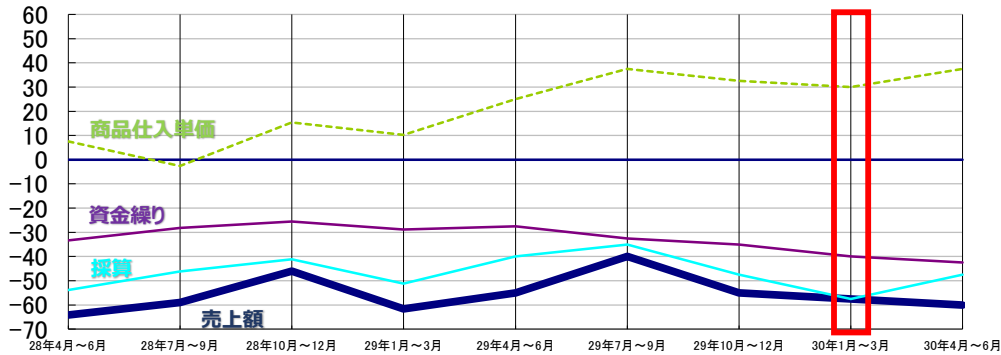
「今期は改善、来期は完成工事額で大幅な悪化の見通し」



「売上額(完成工事額)」は前期比+10.0ポイント(0.0→10.0)となったが、来期は-30.0ポイントの大幅な減少が見込まれる。「採算」は10.0ポイント上昇し、来期は現状を維持する見通しである。「資金繰り」は前期の(-10.0)ポイントを維持するも、来期は-10.0ポイント(-10.0→-20.0)の減少が見込まれる。「材料仕入単価」については、来期に大幅な減少(45.0→20.0)の見通しである。

## 小売業

### 「各項目で悪化傾向、来期は採算の改善が見込まれる」



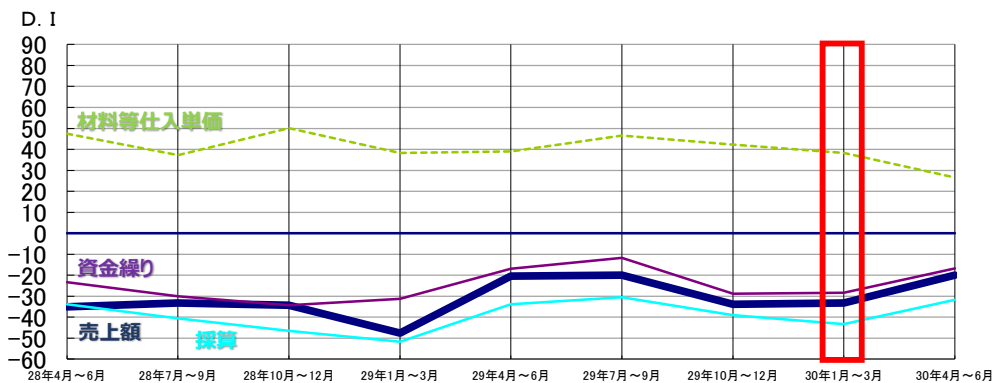
「売上額」が前期比-2.5ポイント(-55.0→-57.5)、「採算」が-10.0ポイント(-47.5→-57.5)、「資金繰り」が-5.0ポイント(-35.0→-40.0)の悪化となった。

来期は「売上額」、「資金繰り」で-2.5ポイントの悪化、「採算」は10.0ポイントの改善が見込まれている。

「商品仕入単価」は今期-2.5ポイント(32.5→30.0)減少、来期は+7.5ポイント(30.0→37.5)の増加を予想している。

## サービス業

### 「売上額・資金繰りは横這い、来期は材料等仕入単価が下降の見通し」



今期は「売上額」が前期比+0.5ポイント(-33.8→-33.3)、「資金繰り」が+0.5ポイント(-28.8→-28.3)の増加、「採算」は-4.3ポイント(-39.0→-43.3)の減少となった。「材料等仕入単価」は前期比-4.0ポイント(42.3→38.3)減少となった。

来期は各項目とも改善の傾向にあり、「材料等仕入単価」も引き続き小幅な改善が見込まれる。

## 調査要領

### ○調査の目的

中小企業景況調査は、全国の商工会地区に地域経済観測点を設置し、地域の産業の状況や経済動向等について、一定時期ごとに変化の実態諸情報を迅速かつ的確に収集・提供して、経営改善普及事業の効果的实施に資するものとする。本報告書は、栃木県内商工会地区における、「製造業」「建設業」「小売業」「サービス業」の4業種を、主要景況項目(売上額・原材料仕入単価・採算・資金繰り)から分析し、景況情報をまとめたものである。

### ○調査対象地区（栃木県商工会地区）

うつのみや市・小山市美田・那須町・上三川町・都賀町  
佐野市あそ・間々田・湯津上・黒羽・那珂川町

### ○調査時点

平成30年3月1日

### ○調査対象期間

平成30年1月～3月期の実績及び、平成30年4月～6月期の見通しについて調査

### ○調査方法

商工会の経営指導員による訪問調査

### ○回答企業数内訳

業種	回答企業数	構成比(%)
製造業	29	19.5%
建設業	20	13.4%
小売業	40	26.8%
サービス業	60	40.3%
合計	149	100.0%

### ※D I 指数とは

報告書に登場するD I 値とは、デフュージョン・インデックス(Diffusion Index = 景気動向指数)の略であり、各調査項目についての増加(上昇・好転)企業割合から減少(低下・悪化)企業割合を差し引いた値を示すものである。

D I 値がプラスのときは業況の好転、マイナスのときは業況の悪化を示すことから、景気の動向を判断する指数として利用される。また、D I 値は強気・弱気など、景況感の相対的な広がりを示すものであり、売上額などの実数値の上昇率とは異なる。

たとえば、今期の売上額を前年同期と比較した結果、増加企業が50%、不変企業が30%、減少企業が20%となったとすると、D I 値は $50 - 20 = 30$ となり、売上額に対して強気の度合いを示している。



編集：栃木県商工会連合会 経営の見える課

発行所：栃木県商工会連合会 栃木県宇都宮市中央3丁目1番4号

TEL 028-637-3731・FAX 028-637-2875